



座間市

しゃきょう

互いに手を取り 支えあう 人と人

URL: <http://www.zamashakyo.jp/>

社会福祉協議会は、住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らせる社会を作ることとを目的とした、社会福祉法に定められた民間の福祉団体です。

発行 社会福祉法人座間市社会福祉協議会
〒252-0021 座間市緑ヶ丘1丁目2番1号
座間市立総合福祉センター(サニープレイス座間)内

TEL.046-266-1294 FAX.046-266-2009
Email: info@zamashakyo.jp






教育



だんの ぐらの しあわせ

座 間市内の小中学校では、体験学習を通じたふくし教育を行っています。ふくし教育とは、**ふ**だんの**く**らの**し**あわせを実現するためには、どんなことが必要なのかを考える取り組みです。座間市社会福祉協議会では、市内の小中学校やボランティア団体と連携しながら、ふくし教育の推進に取り組んでいます。平成28年11月25日には、栗原中学校で、点訳・手話・車いす・拡大写本・要約筆記・災害の体験学習を行いました。



講師: 要約筆記と手話 ひまわり会



講師: 座間市点訳サークル あかり会



講師: 座間市手話サークル 星の会



講師: 拡大写本サークル つばさ



講師: バリフリ座間



講師: ざま災害ボランティアネットワーク

栗原中学校での体験学習の様子(平成28年11月25日)

赤い羽根共同募金 **ご協力をありがとうございます**

赤い羽根共同募金にご協力いただき、ありがとうございます。
11月末日現在、4,877,979円のご寄付をいただきました。
引き続き、募金を受け付けております。ご協力をお願い致します。

座間市立南中学校の生徒さんが
学校募金を届けてくれました。



前号(No.151号)について募金箱設置
協力店舗名の誤り及び掲載漏れがありました。
正しくは、
○リラク小田急マルシェ相武台店
○座間市商工会
訂正し、お詫び申し上げます。
なお、市内の店舗等で設置しておりました
「ざまりん赤い羽根募金箱」は、10月末で回収させていただきました。

年末たすけあい募金 **ご協力をお願いします**

本年も12月1日から全国一斉に“年末たすけあい募金運動”
が展開されています。本市におきましては、お寄せいただき
ました募金を市内の障がい者作業所・福祉団体・ボランティ
ア団体等への支援や地域福祉事業の運営に活用させてい
たきます。市民の皆さまのご協力をお願いします。



義援金 **引き続きご協力をお願いします**

共同募金会では下記の災害義援金を受け付けております。
お寄せいただいた義援金は被災地の共同募金会へ送金致します。義援
金は、被災地の都道府県・日本赤十字社・共同募金会等で構成された義
援金配分委員会を通じて、被災者へ配分されます。
いずれの義援金も平成29年3月31日まで受け付けております。
引き続き、皆様のご協力をお願い致します。

- 平成28年熊本地震義援金 送金済合計:1,019,018円
平成28年 5月10日送金分:676,087円
平成28年 6月 7日送金分:176,085円
平成28年 7月12日送金分: 13,764円
平成28年10月28日送金分:153,082円
- 平成28年8月20日からの大雨(台風9.10.11号等)災害義援金
(受付終了)送金済合計:3,676円(平成28年10月28日)
- 岩手県台風10号大雨等災害義援金
- 平成28年鳥取県中部地震災害義援金

担当: 共同募金会座間支会
TEL:046-266-1294 FAX:046-266-2009

民生委員児童委員退任式 **“笑顔の見守り”ありがとうございました**

平成28年11月30日(水)座間市民生委員児童委員
退任式がサニープレイスにて行われました。座間市の
地域福祉を支えてこられた民生委員児童委員の皆さ
まに感謝申し上げます。

退任された34名の
民生委員児童委員さん(敬称略・順不同)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|
| 澤田雅子 | 島村利明 | 大平尚枝 | 杉山尚宏 | 高井早苗 | 江成悦子 | 島村松恵 | 町田眞弓 | 菅野賀津子 | 秋元昇 | 糸淵徳子 | 柴田悟子 | 濱渦眞子 | 新井かちへ | 大矢富美子 | 大矢雅子 | 大矢和正 | 千葉敬子 | 大塚英雄 | 岡野伸江 | 山銅俊江 | 森高代 | 丸井高子 | 今井美智子 | 宮田康子 | 山口静子 | 川原千代子 | 青木暎江 | 池田あや子 | 河野由美 | 青木友子 | 百崎玲子 | 寺平秀子 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|



社協会費 **ご協力をありがとうございます**

7月の社協会員募集では、住民の皆さまや企業・団体の皆さまのご
理解とご協力により、11月末日現在、5,944,344円の会費をお寄
せいただきました。

① 福祉情報の発信

福祉意識の啓発や地域福祉の推進
・広報誌「座間市しゃきょう」発行・社協事業紹介パンフレットの発行
・ホームページの運営など

社協会費が福祉活動を支えています。

- ② 福祉まつりの開催
福祉意識の高揚と市民の交流の場づくり
- ③ 地域団体の福祉活動支援
・機材貸出・自治会活動助成など
- ④ ボランティアや地域活動支援
・ボランティアに関する情報発信、育成など・高齢者会食事業など
- ⑤ 地区社会福祉協議会活動支援
地域福祉を推進するため、地区社協の活動支援

善意銀行 ♥♥♥市民の愛♥♥♥

善意銀行では、「社会福祉の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という市民
の皆さまの善意を活かし、それを必要としている方々へ橋渡しをしています。

平成28年10月1日から平成28年11月30日までに市社会福祉協議会へご寄附
いただいた方々は次の通りです。ありがとうございました。(敬称略・順不同)

■ 浄財をご寄附いただいた方 合計15件:425,516円

● 社会福祉のために ※ ()内は単位:円

さがみ農業協同組合座間地区運営委員会委員長 川島健三(31,590)/相模健
康センター募金箱(466)/スペースG募金箱(7)/回転寿司まさのすけ本店募
金箱(3,073)/飯野山募金箱(2,548)/市役所地下売店はほえみショップ募金
箱(6,435)/座間市立総合福祉センター2階募金箱(4,187)/座間市銭太鼓連
盟直伎久会(18,200)/神奈川セントラルケアセンター(10,000)/第一生命
労働組合(143,500)/相武台コミセン夢折紙サークル(3,780)/座間市リサ
イクル協同組合(80,230)/匿名2件(105,000)

● 指定寄付

立野台コミセン祭り実行委員会・
立野台地区社会福祉協議会から成光学園へ(16,500)

■ 物品をご寄附いただいた方 合計6件

● 社会福祉のために

鎌田州子(釉薬)/匿名2件

古本市の売上も“善意銀行”へ

11月20日に行われた「座間市民ふるさとまつり」で古本市を行いま
した。この古本は、指定寄付としてお預かりしたものや座間市リサイクル協
同組合にて回収された中から状態の良いものを市の許可を得て販売させてい
ただきました。お天気にも恵まれたたくさんの市民の方々にお越しいただき大盛
況でした。

売上:80,230円

売上は全額「善意銀行」に寄付させていただき、
ボランティア活動支援や地域福祉事業に活用させていただきます。
お買い上げいただいた多くの皆さま、ご協力いただいた座間市リサイクル協同
組合の皆さま、ありがとうございました。

皆さまのお気持ちを届けます

● 指定寄付

川口淳三から成光学園へ(米100kg)
大矢秀夫からふるさとまつり古本市へ(本)
濱島静枝からふるさとまつり古本市へ(本)



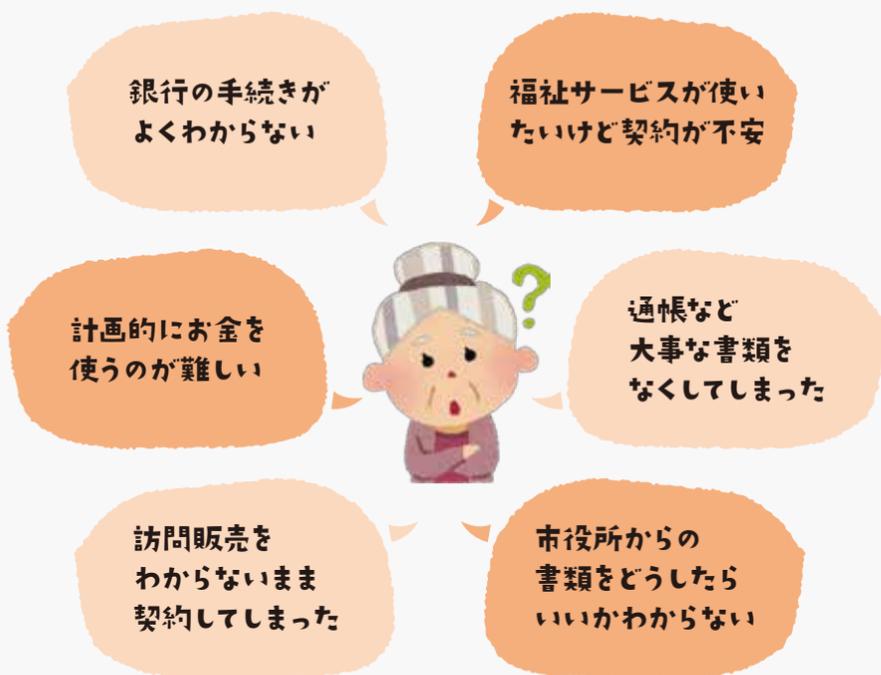
第一生命労働組合様(写真右)

寄付は、寄付者の希望に沿い、配分しています。
善意銀行への寄付金は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

担当: 総務班 TEL:046-266-1294 FAX:046-266-2009

座間あんしんセンター

高齢や障がい等で判断能力が低下された方のお手伝いをします



日常生活自立支援事業

判断能力に不安がある方の福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理のお手伝いをします。

・福祉サービス利用援助・金銭管理サービス

福祉サービスの利用の相談と手続きのお手伝い
日常生活に必要な預貯金の出し入れ
家賃や公共料金の支払い ※所得に応じて利用料がかかる場合があります。

・書類預かりサービス ※利用料月額500円

書類等を社会福祉協議会が契約する貸金庫に保管します。
・お預かりできる物：預金通帳、不動産権利証書、年金証書等
・お預かりできない物：現金、貴金属、書画、骨董品、宝石等

法人後見事業

高齢や障がい等により判断能力が低下した方を法律的に保護する成年後見制度があります。その制度利用の方の成年後見人等の受任を社会福祉法人としてお受けしています。

担当：座間あんしんセンター TEL:046-266-2025 FAX:046-266-2009

ファミリー・サポート事業

子育てを応援します

ファミリー・サポートとは？

「子育てを応援してほしい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う会員組織です。利用したい人と協力したい人をおつなぎします。

どんな時に利用できるの？

- 幼稚園・保育園・児童ホーム等の送り・迎え
 - 保護者の休息・病気や体調不良・通院時の預かり
 - 冠婚葬祭・学校行事等の預かり
- 他、気軽になんでもご相談ください。

利用時間 6:30～21:00

利用料金 450円/30分

登録方法 窓口にてお申込みください。

利用会員の声

近所に頼れる人ができました



協力会員の声

孫ができたみたいです



子どもさんの声

また、いっしょにあそんでね



協力会員募集

地域にたくさんの会員さんがいることが大きな力となります！
子育てのお手伝いを一緒にしませんか？

- ・子どもが好き・子育ての経験を活かしたい
- ・子育て中で一緒に助け合いたい・地域での社会参加をしたい

応募資格 市内在住の20歳以上(年齢の制限はありません)

報酬金 550円/30分

※当事業が開催する講習会の受講が必要です。

協力会員講習会

場所 サニープレイス座間3F

日時 2月8日(水)9:00～12:00

2月9日(木)9:15～11:55

2月10日(金)13:30～16:30

応募方法 窓口・電話にて担当へ



協力会員講習会の様子

担当：ファミリー・サポート事業 TEL:046-266-2003 FAX:046-266-1295

予告 地域サロンサミットについて

毎回、多くのご参加をいただいております「地域サロンサミット」を、今年度も開催します。

日時 平成29年1月29日(日)13:00～16:00

場所 サニープレイス座間

詳細は、ホームページに掲載しています。

座間市社協

検索

チラシも作成していますので、担当までご連絡をお願いします。

担当：地域福祉班 TEL:046-266-2001 FAX:046-266-2009

..... 介護付有料老人ホーム

SOMPOケア ラヴィーレ

介護の相談承ります。お気軽にお越しください。



座間谷戸山公園

住所：座間市入谷4-2741-3

座間

短期利用(ショートステイ)ご利用いただけます。

住所：座間市座間2-3155-1

お食事体験&ホーム見学会開催中!

ご希望日の3日前までに下記フリーコールよりご予約ください。

ご質問などお気軽にどうぞ!



フリーコール 0120-37-1865

受付時間
午前9時～午後6時
(土・日・祝日も受付)

(事業主体) SOMPOケアネクスト株式会社 東京都品川区東品川4-12-8 TEL:03-5783-4165



座間市

しゃきょう

互いに手を取り 支えあう 人と人

読者の声 前月号(No.151号)「大いに語ろう」障団連と市社協のかかわりの記事を読んで、文字が小さく、最初は「何だ、これは」との印象を受けました。しかし、読んでみると素晴らしい内容で、二回読んで大事なところにラインを引きました。

広報担当 お声をいただき、ありがとうございます。市民のみなさまに読んでいただけるように、今後も様々な企画をまいります。紙面に対するご意見ご感想をお待ちしています。

担当：広報 TEL:046-266-1294 FAX:046-266-2009

特集

見守りのカタチ～地区社協の取組み～

今 日、少子高齢化や社会情勢などの変化により、家庭・地域社会を取り巻く環境が大きく変わってきています。「ご近所づきあい」や「おたがいさま」といった“地域のつながり”が薄れていく中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすために、「見守り活動」を行なっている、ふたつの地区社協の見守りのカタチを紹介します。

声かけ運動

相模が丘第一
地区社協

「おかえり」「ただいま」

小田急相模原、相武台前間の3号・5号踏切で今日も声が聞こえます。

この声かけ運動は、各地で凶悪な事件が発生し、子どもを取り巻く生活環境が脅かされていることから、その不安を取り除きたいと思い、小学校の通学路になる2ヵ所の踏切で平成21年に始められました。



下校時の踏切での様子

現在は、火曜、木曜、金曜の下校時間に合わせ、見守り活動を行なっています。
雨の日も雪の日も踏切を渡る子どもたちの安全を守るとともに、一人ひとりの様子を気に掛けながら声かけをします。



下校時の踏切での様子

この声かけ運動は、見守る側の地域の協力者に男性が多いことが特徴です。定年退職した方々の活躍の場として、やりがいのある活動は仲間を増やし、ここにも人と人とのつながりができていきます。

「こんにちは」
「ごくろうさま」

の声も聞こえます。子どもたちだけでなく、地域の方々との交流の場にもなっています。



踏切を利用される方との交流

夕食配膳

立野台地区社協

「からだの具合はどう？」

月に一度、身体の不自由な75歳以上の方のところにへ民生委員が中心となつて手作りのお弁当を届け、声かけを行いながらの見守り活動をしています。

ひとり暮らしの高齢者を対象とした「ふれあい会食会」に参加できない方がおられたことから、立野台コミュニティセンターの調理室を使用し、お弁当を作り自宅へ届ける「夕食配膳事業」が平成4年に始まりました。



お弁当を作る様子

住民がかかわり合い、支えあう仕組み

献立作り、食材の買出し、調理、配達、空き容器の回収、洗浄、それぞれの役割分担がされています。お弁当作りは地区社協会員と各自治会からの協力、配達と回収、洗浄

は民生委員を中心に、地域住民が一丸となり取り組んでいます。



お弁当を届ける様子

「ありがとうございます。心がこもって、とてもおいしい。」

利用されている方からの声が活動の支えとなつています。月1回、お弁当を届けることで様子を伺い、安否の確認にもなっています。

お弁当を作る地域のつながり

調理する人も、届ける人も、受け取る人も地域の住民です。手作りのお弁当に込められた思いが地域の人々をつなぎます。



立野台地区社協のみなさん

今 回はふたつの地区社協の見守りのカタチを紹介しましたが、市内には28の地区社協があり、それぞれの地域にあった活動が行われています。また、自治会や民生委員児童委員、ボランティア、ご近所同士によるさまざまなカタチの見守りが行われています。

そして、いつもの生活の中で「周りの人を気にかけること」も



の見守りのカタチのひとつです。